



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年10月30日

上場会社名 ディーブイエックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3079 URL http://www.dvx.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴崎 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 宮本 聡 TEL 03-5985-6832
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	22,121	12.0	446	△7.1	453	△8.1	314	△19.2
2019年3月期第2四半期	19,750	4.5	480	△36.7	493	△36.7	388	△16.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	29.39	-
2019年3月期第2四半期	34.73	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,137	7,084	35.2
2019年3月期	18,638	7,461	40.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,083百万円 2019年3月期 7,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	24.00	24.00
2020年3月期	-	0.00	-	-	-
2020年3月期（予想）	-	-	-	24.00	24.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,948	6.4	871	△29.6	871	△34.6	580	△40.4	55.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は2019年8月14日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。なお、当該自己株式の取得については、2019年8月14日公表の「自己株式の取得及び自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の買付けに関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2 Q	11,280,000株	2019年3月期	11,280,000株
2020年3月期2 Q	1,002,621株	2019年3月期	452,621株
2020年3月期2 Q	10,686,122株	2019年3月期2 Q	11,196,243株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善などが続き、穏やかな回復傾向にあるものの、米中貿易摩擦の激化による世界経済の減速が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況となっております。

医療機器業界におきましては、増加し続ける国民医療費を背景に医療制度改革が進められており、医療機関からは経営環境改善のため、コスト意識の高まりによる値下げ要請への対応が求められ、引き続き厳しい事業環境への対応が求められる状況となっております。

このような情勢のもと、当社では、販売代理店としては既存顧客の深耕と営業エリアの拡大を進めるとともに、仕入先メーカーとのインセンティブ契約の締結などによる利益率改善にも取り組みました。また、総代理店としては独自商品の販売拡大と新商材の獲得に努めることで、業容の拡大を目指してまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は22,121,271千円（前年同期比12.0%増）、営業利益は446,647千円（前年同期比7.1%減）、経常利益は453,877千円（前年同期比8.1%減）、四半期純利益は314,032千円（前年同期比19.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不整脈事業

高度な専門性を活かした提案型営業による既存顧客に対するサービスの充実に努めるとともに、引き続き西日本エリアを中心として新規顧客の開拓にも注力いたしました。その結果、カテーテルアブレーション（心筋焼灼術）治療用カテーテル類や検査用電極カテーテル等の主力商品の販売数量が増加したことから、当第2四半期累計期間の売上高は19,349,916千円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益は2,126,619千円（前年同期比2.6%増）となりました。

② 虚血事業

販売代理店としての販売が増加したほか、国内総代理店として取り扱っているエキシマレーザ関連商品の販売が堅調に推移したことから、当第2四半期累計期間の売上高は1,903,482千円（前年同期比24.5%増）、セグメント利益は前第2四半期累計期間に計上した移管業務委託収入75,000千円が当第2四半期累計期間では無かったことにより、369,854千円（前年同期比8.6%減）となりました。

③ その他

脳外科関連商品等が好調に推移したことから、当第2四半期累計期間の売上高は867,871千円（前年同期比42.8%増）、セグメント利益は127,821千円（前年同期比39.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ1,349,067千円増加し、18,560,635千円となりました。これは主に、自己株式の取得等により現金及び預金は202,334千円減少しましたが、業績が好調に推移したことにより、受取手形及び売掛金が782,578千円、電子記録債権が247,660千円、商品が621,968千円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ150,267千円増加し、1,577,142千円となりました。これは主に、営業用デモ機、営業用レンタル機の取得により有形固定資産が139,796千円増加するとともに、繰延税金資産が18,300千円増加したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ1,499,334千円増加し、20,137,778千円となりました。

（負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ1,945,340千円増加し、12,631,964千円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴って買掛金が2,065,456千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ69,003千円減少し、420,855千円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が60,554千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ1,876,337千円増加し、13,052,820千円となりました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ377,002千円減少し、7,084,958千円となりました。これは主に、四半期純利益により314,032千円増加したものの、剰余金の配当により259,857千円、自己株式の取得により431,750千円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は35.2%（前事業年度末は40.0%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金の獲得684,001千円、投資活動による資金の支出△164,925千円、財務活動による資金の支出△719,125千円等により、前事業年度末と比較して202,334千円減少し、5,095,844千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税引前四半期純利益454,030千円に加え、仕入債務の増加2,065,456千円等の増加要因があった一方、法人税等の支払△282,038千円、売上債権の増加△1,030,238千円、たな卸資産の増加△688,698千円等の減少要因があったことから、684,001千円の資金の獲得（前年同期は430,515千円の獲得）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得△166,659千円等があったことから、△164,925千円の資金の支出（前年同期は△145,345千円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

自己株式の取得△431,750千円、配当金の支払△259,065千円等があったことから、△719,125千円の資金の支出（前年同期は△881,257千円の支出）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績は、売上高は概ね計画とおりの推移となりましたが、人件費をはじめとする販売費及び一般管理費の経費予算について、節減効果と執行遅れが生じていることから、営業利益以下の各段階利益について、前回公表の予想値を上回る結果となりました。2020年3月期通期の業績予想につきましては、第3四半期以降の経費の発生状況と2019年10月に行われた保険償還価格改定等の影響を踏まえ、2019年5月15日公表の「2019年3月期 決算短信」における業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,298,179	5,095,844
受取手形及び売掛金	8,927,457	9,710,036
電子記録債権	1,296,824	1,544,484
商品	1,382,009	2,003,978
その他	308,397	207,692
貸倒引当金	△1,300	△1,400
流動資産合計	17,211,568	18,560,635
固定資産		
有形固定資産	788,543	928,340
無形固定資産	44,206	36,953
投資その他の資産		
投資有価証券	983	-
差入保証金	251,764	252,195
繰延税金資産	290,600	308,900
その他	50,776	52,969
貸倒引当金	-	△2,216
投資その他の資産合計	594,125	611,848
固定資産合計	1,426,875	1,577,142
資産合計	18,638,443	20,137,778
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,807,078	11,872,534
1年内返済予定の長期借入金	55,799	49,408
未払法人税等	308,000	178,000
賞与引当金	222,354	260,939
売上値引引当金	-	68,281
その他	293,392	202,801
流動負債合計	10,686,624	12,631,964
固定負債		
長期借入金	31,205	9,286
退職給付引当金	325,077	338,530
役員退職慰労引当金	125,381	64,827
その他	8,194	8,211
固定負債合計	489,858	420,855
負債合計	11,176,482	13,052,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金	314,730	314,730
利益剰余金	7,426,541	7,480,717
自己株式	△624,425	△1,056,175
株主資本合計	7,461,304	7,083,730
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	656	-
評価・換算差額等合計	656	-
新株予約権	-	1,227
純資産合計	7,461,960	7,084,958
負債純資産合計	18,638,443	20,137,778

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	19,750,653	22,121,271
売上原価	17,181,817	19,496,975
売上総利益	2,568,835	2,624,295
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	100	100
給料及び手当	721,566	739,983
賞与引当金繰入額	253,175	260,939
役員退職慰労引当金繰入額	3,850	3,716
退職給付費用	30,534	29,885
その他	1,078,807	1,143,023
販売費及び一般管理費合計	2,088,033	2,177,648
営業利益	480,802	446,647
営業外収益		
受取利息	226	213
受取保険金	-	7,368
為替差益	404	1,115
デリバティブ評価益	11,766	-
その他	981	878
営業外収益合計	13,378	9,575
営業外費用		
支払利息	205	129
貸倒引当金繰入額	-	2,216
営業外費用合計	205	2,345
経常利益	493,976	453,877
特別利益		
固定資産売却益	-	648
投資有価証券売却益	21,739	959
特別利益合計	21,739	1,607
特別損失		
固定資産除却損	4,835	1,455
特別損失合計	4,835	1,455
税引前四半期純利益	510,880	454,030
法人税、住民税及び事業税	212,005	158,007
法人税等調整額	△90,002	△18,010
法人税等合計	122,002	139,997
四半期純利益	388,877	314,032

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	510,880	454,030
減価償却費	95,030	124,919
株式報酬費用	-	1,227
デリバティブ評価損益(△は益)	△11,766	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	100	2,316
賞与引当金の増減額(△は減少)	58,785	38,585
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,263	13,453
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△25	△60,554
売上値引引当金の増減額(△は減少)	217,417	68,281
受取利息及び受取配当金	△247	△235
支払利息	205	129
為替差損益(△は益)	△7,026	2,285
投資有価証券売却損益(△は益)	△21,739	△959
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△648
固定資産除却損	4,835	1,455
売上債権の増減額(△は増加)	△415,797	△1,030,238
たな卸資産の増減額(△は増加)	△266,792	△688,698
仕入債務の増減額(△は減少)	417,039	2,065,456
未払消費税等の増減額(△は減少)	△30,631	△12,289
その他	36,267	△12,552
小計	592,799	965,962
利息及び配当金の受取額	212	200
利息の支払額	△206	△121
法人税等の支払額	△162,290	△282,038
営業活動によるキャッシュ・フロー	430,515	684,001
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△115,494	△166,659
無形固定資産の取得による支出	△1,445	△4,833
投資有価証券の売却による収入	21,739	997
差入保証金の差入による支出	△21,124	△2,547
差入保証金の回収による収入	994	2,116
貸付けによる支出	△30,000	-
貸付金の回収による収入	-	6,000
その他	△14	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,345	△164,925
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	30,000	-
長期借入金の返済による支出	△28,322	△28,310
自己株式の取得による支出	△623,806	△431,750
配当金の支払額	△259,128	△259,065
財務活動によるキャッシュ・フロー	△881,257	△719,125
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,026	△2,285
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△589,061	△202,334
現金及び現金同等物の期首残高	6,095,024	5,298,179
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,505,963	5,095,844

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2019年8月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式550,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が431,750千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が1,056,175千円となっております。